

こんなときは！ 地域福祉コーディネーター にご相談ください！

近所で気になる
人がいる

自分に何か
できることは
ないかな？

「どこに相談したら
いいかわからない…」
をまずは受け止め、
一緒に考えます。

誰かと話したい
けど身近に知り
合いがいない

今後の生活が不安、
まずは話を聞いて
ほしい

みなさんと
一緒に

地域に出向き把握する

さまざまな場所に足を運び、日ごろからの関係づくりに努め、住民などからお話をお聞きし、地域の困りごとなどを把握しています。

みなさんと
一緒に

地域のことを考える

地域のみなさんと一緒に、困りごとを把握したり、「こんなことがしたい」「こんなまちだったら良い」と話し合いをしています。

※ 相談内容によってはすぐに解決に至らない場合もあります。相談者に寄り添い一緒に考えていきます。



地域福祉コーディネーターとは？

地域の生活課題を発見し、地域住民や関係機関と協力しながら地域で支え合う仕組みを作ったり、ネットワークづくりをする福祉の専門職です。令和6年度は、西荻・荻窪・高円寺の3地域に配置されています。

お問合せ先

杉並区社会福祉協議会
地域支援課 地域福祉推進係
(地域福祉コーディネーター)
☎03-5347-1017

杉並区在宅医療・生活支援センター
地域ささえあい連携推進担当

☎03-5335-7315

この取組は杉並区地域支え合いの仕組みづくり事業を受託して実施しています。

取組事例 居場所づくりについて

地域福祉コーディネーター（以下、地域福祉Co）が住民からの相談をきっかけに、住民とともに考える機会を作り、住民同士の交流の場として展開した事例について紹介します。

きっかけ

地域福祉Coが自営業を営んでいたAさんから、「思い出の詰まっているこの場所を使って何かできないか」と相談を受けました。

まずは、Aさんの思いを受け止め、場所を使うイメージなどを一緒に考えることにしました。



Aさんの思いを受け止めて、寄り添うことを大事に。

支援の展開

地域福祉CoがAさんのお話を聞いていると、「お店にきてくれていた人など、まちの人たちに集まってもらいたい」という思いがあることがわかりました。

そこで、地域福祉CoはAさんの思いを共有する場を作りました。

Aさんに賛同する人や「自分たちが気軽に集まれる場所があると良いと思っていた」という思いがある人と繋がることができ、取り組みに向けて話し合いを重ねました。

一緒に考えてくれる人を呼びかけたところ…



Aさんの思いに賛同する人が増えていった。

支援の成果

実際に取り組んでみると、集まった人たちからは「なじみのあるこの場所でみんなで集まれてよかった」という声を聞くことができ、Aさんからは「この場所を開くことをみんなが求めてくれているのがわかり、嬉しかった」という気持ちが語られました。

「手伝ってくれる人がもっといると良い」、「〇〇さんがきてくれてよかった。次も声をかけてみよう」と積極的な意見が生まれるだけでなく、閉じこもりがちな人の外出や交流の機会にもなりました。

実際に取り組んでみると…



閉じこもりがちな人にとっての外出や交流の機会にもなることがわかった。

地域福祉コーディネーターの思い

地域福祉Coは、Aさんの思いと地域で思いを繋げ、負担なく楽しくできる方法を考え、実施できることを大切にしてきました。

地域の皆さんの居場所であり、Aさんの居場所にもなっているこの場所や活動が、生きづらさや孤独を感じている人にとっても交流・参加の機会になると良いと思います。

